



北海道小学校長会

平成 28 年度 第 4 回理事研修会 へき複連の活動や要望について

今年度、全道の研究大会は、第 65 回 全道へき地複式教育研究大会渡島大会、9 月 27, 28 日の二日間、参加者 640 名を得て盛会に終えることが出来た。また、第 66 回全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会も 9 月 23 日、360 名の参加者を得て、無事に終えている。

平成 29 年度活動予定であるが、今年度の釧路プレ大会が、第 66 回全道へき地複式教育研究大会釧路大会と本大会になる。プレ研究大会は、平成 29 年 9 月 29 日に後志プレ大会を行う予定である。このように、授業研究するところは、プレ大会、本大会と 2 年間継続して研究を行っている。

要望活動として、全国へき地教育研究連盟と連携しながら、道小をはじめ関係機関の協力を得て、文科省、道教委等への働き掛け、要望活動を行ってきた。今年度、北海道文教施策・予算策定に関する要望書に、「へき地・複式校、小中併置校、小規模校における条件整備について図られたい」という要望を入れていただいたことに、感謝申し上げます。また、文教施策懇談会・各課懇談会での提言の場をいただいたことは、直接、道へき・複連の実情を知っていただける良い機会となり、大きな成果であった。参加者の方からも、質問や要望等で後押ししていただける場面もあり、大変充実したありがたい場となった。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

最後に、各地区で、校長会の折にでも地区のへき地複式教育の活動紹介の場の設置や未加盟の学校への働き掛けをいただけるとありがたい。今後もよろしくお願い申し上げます。

北海道小学校長会 第4回理事研修会資料

北海道へき地・複式教育研究連盟

I 平成28年度活動報告

1 第65回 全道へき地複式教育研究大会渡島大会

大会スローガン『伝統に息づくロマン溢れる渡島の大地から未来を創る子らに確かな学びと豊かな心を』のもと9月29日(木)・30日(金)に実施。1日目函館市フォーポイントバイシエラトンで全体会と分散会、2日目は渡島管内1市5町8会場で分科会が行われ、道内各地より640名の参加者を得て盛会裡に終えることができた。

本大会は、第9次長期5ヶ年研究推進計画の3年次の大会であり、昨年度の研究推進計画の成果と課題を踏まえ、「学校・学級経営の深化・充実」「学習指導の深化・充実」に向けて、保護者・地域との連携や学校づくり、ICTを活用した授業展開等について研究を深めた。また、3年目となる分散会では、「質の高い教育活動を展開するための地域や学校種間の連携を活かした学校経営の推進のあり方」「リスク表を組織的に活用するための共通理解や子どもの育ちの検証」「読み取りの仕方の工夫や練り合いの工夫」について、三つの提言をもとに交流が進められた。これらの成果を来年度行われる第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会・第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会へとつなげ、北海道のへき地・複式教育の充実に努めたい。

2 第66回 全道へき地複式教育研究大会釧路プレ大会

9月23日(金)『タンチョウはばたく釧路の大地から未来を切り拓く子らに豊かな心と確かな学力を！』を大会スローガンに、360名の参加者を得て、釧路管内6町1村8会場で実施された。公開授業をもとにした熱心な研究討議が行われ、平成29年9月に開催される第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会につながる充実した大会となった。

II 平成29年度活動予定

1 第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会

大会スローガン『タンチョウはばたく釧路の大地から未来を切り拓く子らに豊かな心と確かな学力を！』

《開催日》平成29年9月21日(木)；全体会・分散会／22日(金)；分科会

	会場校	研究主題	分野・教科
1	釧路町立 昆布森小学校	学び方を身につけ、生き生きと活動する子どもの育成 ～自ら考え、交流し、互いに高め合う複式授業を通して～	学校・学級経営 学習指導 国語科
2	厚岸町立 太田小学校	主体的に学び深く考える子の育成 ～複式学級での国語科・文学教材の効果的な指導を通して～	学校・学級経営 学習指導 国語科
3	浜中町立 散布小中学校	自分の考えを持ち、進んで学び合う授業の構築	学校・学級経営 学習指導 全教科
4	標茶町立 沼幌小学校	自ら考え、粘り強く取り組む子どもの育成 ～自力解決のための態度や能力を高める個に応じた指導のあり方～	学校・学級経営 学習指導 算数科
5	標茶町立 塘路小中学校	自らの学びを拓き、生き生きと学び通す子どもの育成 ～子どもが予想を立て、解決の方法を探る展開の工夫～	学校・学級経営 学習指導 算数科
6	弟子屈町立 奥春別小学校 弟子屈町立 美留和小学校 弟子屈町立 和琴小学校	自ら学び、豊かな心でたくましく郷土を切り拓く子どもの育成 ～かかわり合いながら、学ぶ楽しさを味わえる「集合学習」のあり方を求めて～	学習指導 全教科
7	鶴居村町立 下幌呂小学校	ともに学び合い、一人ひとりが学びを実感する子どもの育成 ～学びの連続性を生かした授業づくりを通して～	学校・学級経営 学習指導 算数科
8	白糠町立 茶路小中学校	かかわり合いながら学びを深め、自分の考えを表現できる子どもの育成 ～9年間の系統性を意識した指導を通して～	学校・学級経営 学習指導 全教科

2 第 67 回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会

《開催日》平成 29 年 9 月 29 日(金) 《開催地》後志

3 今後の研究大会開催予定について

※加盟校減少により、留萌・根室地区は開催せず。

年度	プレ研究大会	全道研究大会	全国研究大会
29 年度	後志プレ大会	釧路大会	高知大会
30 年度	空知プレ大会	後志大会	京都大会
31 年度	檜山プレ大会	空知大会	長野大会
32 年度	オホーツクプレ大会	檜山大会	富山大会

Ⅲ へき地・複式教育充実に向けた要望活動について

1 平成 28 年度の要望活動について

全国へき地教育研究連盟と連携しながら、道小をはじめ関係機関の協力を得て、文科省、道教委等への働きかけ、要望活動を行ってきた。

※今年度、北海道文教施策・予算策定に関する要望書に、「へき地・複式校、小中併置校、小規模校における条件整備について図られたい」という要望を入れていただきましたこと、大変感謝申し上げます。(特に、このような項目を起こしていただいたこと)内容は次の通りです。

- (1) 統廃合における人的な配置
○教頭の担任解消
- (2) 複式指導における児童の学習環境の向上と教員の負担軽減
○小学校 1・2 年の複式学級解消、事務職員の加配
○「変則複式学級」及び「飛び複式学級」の解消
○理科・社会・外国語活動における複式指導の解消
- (3) 複式学級における教員の実践力の向上
○道教委等による「複式教育に関する指導資料」等作成
○各種研究機関等による研修の充実
○市町村教委のへき地・複式教育に関する研修・研究活動に対する支援
- (4) へき地学校指定級見直しに向けた条件整備
○各学校の地域性、実態に見合ったへき地学校指定級の見直し
○北海道の実態を反映した指定基準点数、調整点の見直し

今年度は文教施策懇談会・各課懇談会での提言の場をいただいたことは、直接、道へき・複連の実情を知っていただける良い機会となり、大きな成果でした。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げますとともに今後も強く働きかけていただきたいと考えます。

2 平成 29 年度の要望について

平成 28 年度の結果を踏まえて(要望が叶えられていない状況)、再度検討して要望をしていきたい。引き続き、へき地・複式教育の一層の充実に向け、道教委をはじめ、文科省や関係機関への働きかけをお願いしたい。

Ⅳ おわりに

へき地・複式学校の減少の他、道へき・複連に未加盟の学校があることも課題です。できるなら各地区で、校長会の折にでも地区のへき地複式教育の活動紹介の場の設置や未加盟の学校への働きかけを頂けると幸いです。